

ウサギとカメが もう一度勝負したら？～11月の全校朝会より～

校長 小林 隆裕

ウサギとカメの話は知っていますね。(童謡「ウサギとカメ」の歌詞を紹介)

お話では、足の速いウサギではなく、足の遅いカメが勝ちました。普通に勝負したらウサギが勝つに決まっています。でも、なまけたり、さぼったりしていたためにウサギは負けてしまった、という話です。

じゃあ、もしも、このウサギとカメがもう一度競争したら、どっちが勝つでしょう？
ウサギは「もう油断しないぞ」と思っているので勝つ！と考える人もいますでしょう。
でも逆に、もう一度勝負しても、やっぱりカメが勝つ！と言っている人もいました。
どういうことでしょうか？

その人が言うには、**ウサギはカメばかり見ている。つまり競争する相手だけを見ている。**
それに比べて、**カメは、相手がウサギだろうと誰だろうと、ゴールしか見ていない。だからよそ見をせず、油断もせずに、一直線にゴールを目指すことができ、結果的に勝ったんだ！**ということ。なるほどなあ、と思いました。

もう一度、歌詞を見てみましょう。

もしも カメよ カメさんよ せかいのうちに おまえほど
あゆみの のろいものはない どうして そんなにのろいのか

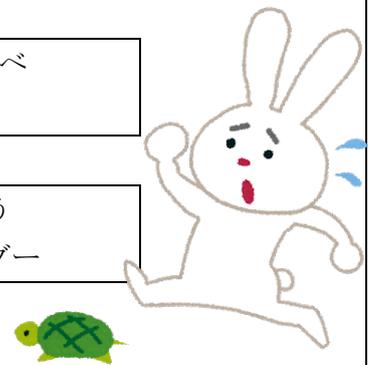
ウサギはカメに向かって話しかけていますね。

なんとおっしゃる ウサギさん そんなら おまえと かけくらべ
むこうの小山のふもとまで どちらが さきに かけつくか

ゴールを決めたのはカメですね。

どんなに カメが いそいでも どうせ ばんまで かかるだろう
ここらで ちょっと ひとねむり グーグーグーグーグーグー

ウサギはやっぱりカメしか見ていなくて油断していますね。



つまり、何かをする時に、周りの人を見て、「あの人があれくらいしかやっていないから、自分もこれくらいでいいか」と考えたり、「本当はやらなきゃいけないんだけど、やっていない人もいるから、自分もやんなくていいや」と考えたりしていたら、本気でゴールを目指さなかったウサギと同じですよ。

周りを見て、「これくらいでいいや」「あの人はあだから自分も」ではなくて、**自分が目指したいレベルはどれくらいか、どのゴールにたどり着きたいのかを考えて行動できる人になってほしい**と思っています。

あいさつ、学習への取り組み方、普段の生活・・・自分で「こうなりたい」と思ったゴールに向けて、二学期後半を過ごしてください。

縦割り班清掃が始まり、大漁太鼓の引継ぎも始まりました。秋の深まりとともに、校内の世代交代が始まろうとしています。異学年交流の中でも「こういう自分になりたい」を見つけて行動し成長していく姿を期待しています。